

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム さらさの杜 (おおるりユニット)	評価実施年月日	平成22年 2月22日～3月10日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年 3月15日

北海道

得ています	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らして行くことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	利用者一人一人が、その人らしく生活できるよう、5つの理念を掲げ個人を尊重しながら支援しています。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ホール・休憩室に掲示して、ケアプランや利用者さんの日々の身体・精神状態に合わせて対応しています。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入居時には家族にお話させて頂いています。地域の方の来訪時にお話させて頂いています。		
2. 地域との支えあい			
4 ○近隣とのつきあい 管理者や職員は、隣近所のひとと気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつき合いができるよう努めている。	利用者さんと散歩、買い物等で近所の方々と触れ合う機会もあり、挨拶や交流を図っています。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の婦人会のボランティアが毎月来訪し、利用者さんとお茶を飲みながらゆっくり交流する機会もあり、地域老人会の集まりにもお声を掛けて頂き参加しています。		
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合いし、取り組んでいる。		○	

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践する為の制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実践する意義を理解し、評価を生かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>スタッフ全員で取り組み、利用者さんや仕事についての対応がしっかりできているか再確認でき大変活かせているとおもいます。</p>		
8	<p>○運営推進会議を生かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>1回/2ヶ月行っている。会議では日々の生活の風景等も掲載し、取り組み等も報告し、質問・意見をしっかり頂いており、サービス向上に役立っています。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業者は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域福祉課・保健所・地域包括支援センターとの連携に努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修会で、成年後見制度について学びましたが、全スタッフ把握出来ていません。今迄活用した人は0となっています。</p>	○	今後の研修会において題材としてより深く理解して行くよう努める。
11	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている。</p> <p>どんな事が虐待か、会議等で話し合い、全員が周知し虐待がないように注意しています。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>契約を結んだり介助する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入居時、ご本人・家族には、希望や疑問点、不安なこと等聞き、十分説明し理解・納得して頂いている。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見不満等がでた時は、内容を把握して問題を解決できるよう話し合う機会を設けています。</p>		
<p>14 ○家族への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>利用者の生活状況や暮らしぶりについては都度報告しています。金銭管理等に関しては毎月定期的に郵送し報告している。</p>		
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて、ご家族の意見を確認している。又、ご家族の意見や希望は面会時・カンファレンス時確認している。</p>		
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させている。</p>	<p>ユニット会議で職員の意見・提案を頂いている。又、毎月職員会議実施時、職員の意見を出し合い、業務に繁栄させている。</p>		
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に勤めている。</p>	<p>必要に応じて勤務調整を行っている。</p>		
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や利殖を必要最小限に抑えられるよう努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>退職があったり、新人スタッフがいった場合、ユニットのバランスを考慮し移動する事もあるが、最小限に抑えて影響が出ないようにしている。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画をたて、法人内外の研究を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまで本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまで本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目		取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	居宅介護支援事業所や訪問介護事業所の紹介等、アドバイスを行っている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫する。	入居前見学や体験入所等を実施している。		
2. 新たな環境づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	同じ空間で時間を共にし、スタッフと利用者と協働し物事を行ったり、人生の先輩がたより学ぶ事も沢山あり、良い関係を築いている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて行く関係を築いている。	面会時や電話等で日々の状況の変化を報告し、ご家族・スタッフ一丸となって支援していけるような関係を築いている。		
29	○本人と家族のより良い関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	できるだけ面会に来て頂けるよう声掛けし、入居によって関係が疎遠にならないよう心掛けている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居時に家族・本人にお尋ねして、入居後も変わらず関係が保たれるよう努めている。		

項目		取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている。	利用者同士の関係を把握し、楽しく生活して頂けるよう、話題提供したり、何かきっかけを作り孤立しないよう努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	継続的な係りはない。		
Ⅲ. そのひとらしい暮らしを続ける為のケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向の把握に努めている。困難な場合は本人本意に検討している。	日々の生活の中で、利用者の希望や意向は尋ねたり、会話の中から読み取ったりと把握に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みのくらし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人・家族より、入居前に聴取し把握に努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	変化を見逃さないよう、一人ひとりの様子を観察している。全スタッフが現状を申し送りして把握できるよう努めている。		
2. 本人がよりよく暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族・本人の希望・意向をもとに、日々生活を共にしている。スタッフの意見・アイデアを反映し定期的に会議を開き計画を作成している。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、状況に即した新たな計画を作成している。</p>		
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源と協働			
40	<p>○地域資源と協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関等と協力しながら支援している。</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為に支援をしている。</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を定説にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	地域医療を大事にし、適切な医療を受けられるよう支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医がおり、相談にのって頂いている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者を良く知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職確保は無し。かかりつけ病院の利用者を良く知る看護職員に相談にのって頂いている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせる様、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	施設側より生活状況等の情報提供し、入院中は面会したり、家族や病院側より病状を聞き経過を見ながら早期退院できるよう努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	方針の共有はなされていない。	○	ご家族の意向確認し、主治医と連絡を取りながら、終末期へ向けた取り組み、マニュアル作成・研修を実施し、全スタッフへ周知して行く。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度化や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人・ご家族の意向を確認し、ちょっとした変化にも状況を主治医に報告し指示を仰ぎながら支援している。	○	今後も主治医と連携を図りながら入居者・ご家族が安心できる支援を心がけて行く。

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居室へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> <p>基本情報を添付したり、十分な話し合いや情報交換を行っている。</p>		
<p>IV. そのひとらしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. そのひとらしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような声掛けや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p> <p>利用者や個々のプライバシーは、スタッフ全員配慮して不快な思いをさせないように努めている。記録などはユニット内で所定の場所に保管している。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> <p>日常の生活の中で選択する機会を色々と設けている。その日、その時の気分で利用者が自分で考え思いを伝えられるよう支援している。</p>		
52	<p>○日々のそのひとらしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日々をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> <p>利用者さん、それぞれのペースに合わせて、無理の無いよう一日の生活を支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店にいけるように努めている。</p> <p>自分で身だしなみできる方は、日々自由に衣服を選ばれていますが、時にはアドバイス・コーディネートする事もあり。美容に関しては、基本出張理容となっているも、ご本人の希望店へ行かれる方もいます。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> <p>それぞれの嗜好を把握しており、美味しく召し上がって頂けるよう配慮し、準備・片付けは出来る利用者で分担しながらスタッフと一緒にしています。</p>		

項目		取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望む長家、飲み物、おやつ、タバコ等、好みの物を一人一人の状況に合わせて日常生活に楽しめるよう支援している。	その人の好みに応じて、飲み物・おやつ提供させて頂いています。現在お酒を飲まれる方・喫煙者はありません。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やオムツの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導等を行っています。排泄の訴えが出来ない方に関しては、体動や仕草等をチェックしてできるだけ失敗が無いよう支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように支援している。	2日おきに入浴日を設けておりますが、体調や気分に応じて変更・中止しております。希望があれば毎日入浴も可能です。利用者さんの希望に対応できるよう全スタッフ声掛けし支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるように支援している。	一人一人の生活のリズムや体調等に添って休息の呼びかけや誘導を行っています。夜間不安な状態の方へは、落ちつくまで話をしたり、寄り添い、安眠できるよう支援しています。		
(3) そのひとやしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者さんそれぞれの趣味や興味を聞いたり発見し、又、残存能力を最大限に活かせるようお手伝い等で一人ひとりが活躍できるよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つ事の大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している。	家族・本人の希望があれば、所持可能である。所持することで安心感を持たれる方もいて、必要に応じてスタッフと共に買い物へと出かけております。		

項目		取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出の支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候が良ければ、声掛けし散歩・ドライブへ出かけております。 (季節を目・肌で感じていただく)		
62	○普段行けないところへの外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族と共に出かけられる機会をつくり、支援している。	外泊等、家族の協力で出かけられる方もおられます。受け入れが出来ず外泊出来ない方へは、天候が良ければドライブへ行ったりする場面もあります。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人には本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話・手紙で伝達希望の方への支援は十分できている。又、自分の意思で伝達希望無くても家族へ電話をつなげ会話して頂く等の支援もしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるよう工夫している。	お茶の提供、声掛けできてゆっくりくつろいで頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの支援 運営者ならび全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束禁止は十分理解している。	○	資料等を参考に全スタッフで、もっと理解度アップに努める。
66	○鍵を掛けないケアの支援 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。	日中は鍵を掛けない対応をしている。夜間は防犯防止の為、正面玄関は施錠しています。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中居室で過ごされている方もいるので、時間は決めていないが定期的に訪室している。夜間は2時間おきの巡回ですが、観察等必要な時には短いスパンで巡回している。		
68 ○注意の必要な物品・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	洗剤等危険物は保管場所を決めて、目に付かないようにしている。一人一人の状態に応じて、居室には歯磨き粉、うがい薬等使用頻度が高い物は置かせてもらっています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	スタッフ全員さまざまな事故防止のため、日々気を配り対応しています。事故に繋がらないよう、回避できるように呼びかけや申し送りをしています。		
70 ○緊急や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変・事故に備えて、マニュアル作成し対応できるようにしている。	○	定期的には行っていないが、今後新しく入ったスタッフの指導及び等、しっかり行って行きたい。
71 ○災害対策 災害や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が非難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるように働きかけている。	避難訓練は定期的に行っておりますが、やはり実践的な部分や地域との連携は足りない部分はあると思います。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	面接時や電話の祭に、その都度家族と話して利用者の生活に役立てるようにしております。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行 きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>申し送りやそれ以外でも声を掛け合い体調変化を見落とさないように気を配っております。</p>	○	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方時や服薬変更時は必ずノートに薬の情報を書き、更に職員全員に申し送って理解に努めています。</p>	○	<p>薬の残量を把握し、飲み忘れがないように更に気をつけたい。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>バランスの良い食事を摂って頂き、適度な運動をして頂けるように心掛けています。</p>	○	<p>運動は長続きしないことが多いので、できるだけ本人の負担にならない程度に継続できるようにしたい。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>食後は義歯洗浄して頂いており、起床時や就寝前も見守りや声掛けで清潔を保持しています。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事中はバランスよく食べていただけるように声掛けさせていただいています。水分補給も状況に応じて極力摂っていただいております。</p>		
78	<p>○感染予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。</p>	<p>外出時はマスク着用し、手洗い・嗽を実施しております。日常生活でも排泄後や食前等は手洗いをしたり、手に触れる場所は消毒しています。</p>		

項目		取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具・キッチン内は毎日消毒しています。食材は鮮度のあるうちに使用しております。		
2. そのひとらしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地よい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族・近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	スベリ止めマットを敷いたり、障害物を置かないようにしている。椅子等は必要に応じて置くようにしている。		
81	○居心地良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて心地よく過ごせるよう工夫をしている。	使いやすく入りやすい雰囲気心がけ、ホールや居室に生花・造花を飾り、明るく過ごせるよう工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関にはソファー・ホールにもソファー設置して、居室にも利用者同士交流できるよう椅子を設ける等して、気軽に訪室できるよう工夫している。		
83	○居心地良く過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時に馴染みの家具等を持ってきて頂き、自分の部屋であるという空間を作っている。		
84	○換気・空調に配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	周囲に不快が無いよう、窓を開け換気したり、消臭スプレー等利用している。ホールには室温管理の為、温度計設置して調整している。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取り組んで行 きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下・トイレ内は手摺り設置されており、身体が不自由でも能存機能を活用して安全に生活できるよう配慮している。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよう工夫している。</p>	<p>・一人ひとりのできること、できないことを把握して混乱し失敗がないように生活して頂いている。</p> <p>・テーブル席には名前、トイレにも大きく目印し、居室を忘れる方には目に入りやすいよう大きくネーミングしている。</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>花壇活用したりプランターを使い野菜や花を育て、収穫して共に喜び楽しんでいる。花好きの方は野花を摘みに施設周辺へ出かけています。</p>	

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない
95	職員は、家族が困っていることに、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が尋ねてきている ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

項目	取り組みの成果
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者との繋がりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ① 大いに増えている ② <u>少しずつ増えている</u> ③ あまり増えていない ④ 全くない
98 職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての職員が ② <u>職員の2/3くらいが</u> ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>ほぼ全ての利用者が</u> ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>ほぼ全ての家族が</u> ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどない

【特に力を入れている点・アピールし対点】

(日々の実践の中で、事業所として取り組んでいる点・アピールしたい転を自由記載)

利用者の方々が、いつも笑顔でいられるように明るく楽しく生活ができるような場を常に提供していくよう努力しています。